



君の世界に芽生えるものは

くおんじゅく

久遠塾

vol. 70

久遠塾 ☎ 080-2182-1379 13:00~20:00
メールアドレス shiranuka.kuon@gmail.com久遠塾で進路サポートを行った
工藤さんを紹介します■工藤桃子さん 北翔大学教育文化
学部芸術学科合格

私が進路を決めたのは、高校3年生の春頃でした。生徒会活動でチラシやポスター等のデザインを考えるうちに、将来、デザインについて学びたいと思うようになりました。進学が就職かで悩んでいる人は、興味のあるものや好きなものを学びたいということを優先的に考えてはいかがでしょうか。自分の興味や関心が「やりたいこと」へとつながっていくよう、自分自身を探究しながら学校生活を送ってほしいと思います。

私は、指定校推薦で受験（試験は面接のみ）しました。模擬面接練習は、夏頃から高校の先生にしていたきました。放課後は、久遠塾の先生と志望理由書に添って想定問答をしました。本番では想定外の質問もありましたが、何度も先生方に練習をしていただいたおかげで、動揺することなく答えることができました。

以上が工藤さんの所感です。今年度の大学進学希望者は、工藤さんの「指定校推薦」のみでした。この形式は、大学が指定する高校のみが出席できます。大学は、受験者の高校での学習成績の状況とともに面接試験をします。

久遠塾では面接対策として、まずは自分の短所や長所、どうしてこの大学・学部を選んだのか、大学で何をしたいかといったことを自己分析し、考えをまとめさせることから始めます。次に、本人と相談しながら聞かれそうな内容を過去の事例からリストアップして自分なりの回答による「想定問答集」を作り、あとは模擬面接練習を繰り返しします。

塾としては今後も希望者一人一人に応じた指導を行い、進路の実現を目指していく方針です。

カタリ場を視察

2月12日に長沼高校2年生28人による「カタリ場」を視察しました。カタリ場とは体育館等の広い空間で、高校生4、5人と大学生1人がグループになり、日頃思っていることをざっくばらんに語り合うものです。

実際の様子を観察すると、お互いに年齢が近いということもあり、高校生は次第に大学生と打ち解け、表情が豊かになっていくことが分かりました。進路意識の高揚というよりも「ピアサポート」や自己啓発を前面に押し出していると感じました。



大学生を囲んで語り合う「カタリ場」。大学生は高校生が共感できる身近なエピソードを語っていました。

最後の演奏会

2月15日、ファイナルコンサートが社会福祉センターで開かれました。コンサートには、白糠高等学校吹奏楽部と白糠学園ブラスアンサンブル同好会、白糠吹奏楽団、そして、久遠塾の柴澤講師も出演しました。

白糠高等学校吹奏楽部は、部員が3年生の一人だけですが、高校生活最後の演奏会を楽しんでいました。生徒は「卒業してから吹奏楽を続けたい」と笑顔で話していました。



多くの町民が集まったファイナルコンサート。コンサートでは「マイホームタウン」や「青春の輝き」などの曲が演奏されていました。